

骨髓から採った幹細胞移植 狭心症患者でも回復

信州大病院

信州大医学部付属病院 移植した結果、心機能の
は12日、重い狭心症のた 改善に成功したと発表し
め心臓を取り巻く血管の た。患者はこの治療から
流れが悪くなった男性患 1カ月後の今月2日、
者(61)の心筋に、本人の 退院した。重い心筋梗塞
骨髓から採った幹細胞を の患者が骨髓の細胞移
植で回復した例は、8月
に埼玉医大から報告され
たが、心筋梗塞に至る
前段階の狭心症患者で
の回復例は、国内では
今回が初めての報告だと

いう。

治療したのは、信大病
院循環器内科の池田宇
一、心臓血管外科の天野
純岡教授らのチーム。

男性は4年前から狭心
症を患っていた。今年7
月に胸の不快感を訴えた
ため検査すると、心筋に
栄養を送る「冠動脈」3
本が詰まっていた。

9月1日にうち2本に
ついて、人工血管を使っ
たバイパス手術をした。
詰まりのひどい残る1本
がカバーする心筋部分に
は、同時並行で幹細胞を
直接注射して移植する治
療を採用した。

実際には、本人の骨髓
液50ミリットルを採
取し、再生になんらかの
働きをする幹細胞を集め
て、計5ミリットルを注
射。手術後、付近の血流
が改善したのを画像検査
で確認した。患者は退院
後、以前と同じ日常生活
を送っており、今のところ
副作用も認められてい
ないという。

治療にあたっては、事
前に患者の同意と、院内
の倫理委員会の承認を得
た。(鈴木拓也、権敏憲)